

じょうようのふくし



社協だより

～あの人を幸せに 私を幸せに～

共同募金配分金で作成しています

城陽市社協
マスコット



発行 社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

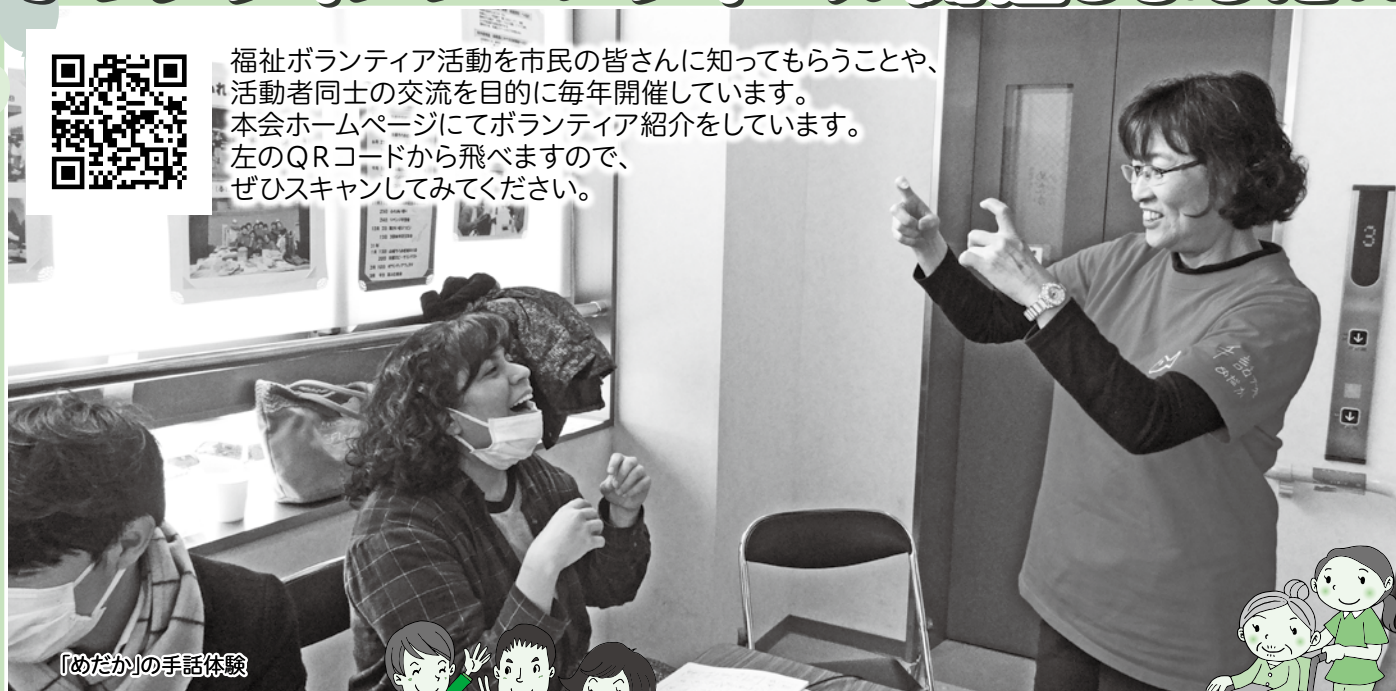
TEL 0774(56)0909
FAX 0774(56)2800
<http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>

平成31年 春 発行
第127号

ボランティアフェスティバル開催しました!!



福祉ボランティア活動を市民の皆さんに知ってもらうことや、活動者同士の交流を目的に毎年開催しています。本会ホームページにてボランティア紹介をしています。左のQRコードから飛べますので、ぜひスキャンしてみてください。



「めだか」の手話体験

「てまり」と会場全体で手話歌



「城陽おはなしサークル」
読み聞かせ



「たんぼぼ」の点字体験



「コスモス」の紹介コーナー



「手助け隊」の紹介コーナー



「ダンボ」の要約筆記



福祉機器メーカー
の体験・説明



「陽声」の朗読体験



第40回

城陽市社会福祉大会の報告

3月2日(土)に第40回城陽市社会福祉大会を開催しました。第1部の式典では下記受賞者88名・団体の表彰を行い、第2部の第13回児童・生徒の福祉作文コンクール表彰では表彰後、次ページの最優秀賞作品の発表、第3部の講演では、お笑い理学療法士の日向亭葵氏に楽しく道具を使わない“エアリハ”を会場と一体で行いました。

《第1部 式典 被表彰者》 順不同・敬称略、()内は推薦団体

》1 城陽市長表彰(2名)

●社会福祉事業功労者(2名)

三崎 功子 (寺田西校区社協) 石立 さだ子 (青谷校区社協)

》2 城陽市社会福祉協議会会長表彰(31名)

●社会福祉事業功労者(30名)

南 隆子 (久津川校区社協)	吉田 記世 (久津川校区社協)	音瀬 里美 (久津川校区社協)
長尾 禧寛 (久世校区社協)	小石原 寿二 (久世校区社協)	時岡 浩一 (久世校区社協)
坪井 さゆり (久世校区社協)	卯川 利明 (深谷校区社協)	伊藤 幸雄 (深谷校区社協)
語堂 辰文 (深谷校区社協)	劔持 あかね (寺田南校区社協)	上田 靖代 (寺田南校区社協)
荻野 美鈴 (青谷校区社協)	故島 妙子 (青谷校区社協)	林 俊雄 (青谷校区社協)
新井 恵子 (城陽市母子寡婦福祉連合会)	清水 努 (京都府立心身障害者福祉センター)	平岡 幸子 (和光会)
山下 大輔 (和光会)	川本 長子 (和光会)	鈴村 由里子 (青谷学園)
森本 恭裕 (青谷学園)	冷泉 亜紀子 (青谷学園)	山田 優子 (青谷学園)
中野 美代子 (清仁福祉会)	西村 宣子 (清仁福祉会)	林 長子 (ボランティア連絡協議会)
森藤 美智子 (ボランティア連絡協議会)	匿名 2名	

●民生委員・児童委員奉仕者(1名)

井川 依子 (久世地区民生児童委員協議会)

》3 城陽市社会福祉協議会会長感謝状(28名 19団体)

●社会福祉事業奉仕者 個人(28名)

長曾 敏子 (久津川校区社協)	田邊 康子 (久津川校区社協)	吉田 美代子 (久津川校区社協)
阪田 満智代 (久津川校区社協)	川村 澄子 (久津川校区社協)	松浦 洋子 (久津川校区社協)
西村 直美 (久津川校区社協)	上田 弘枝 (久津川校区社協)	吉岡 清博 (古川校区社協)
坂田 美知子 (古川校区社協)	谷口 重彦 (久世校区社協)	清水 義雄 (久世校区社協)
外木場 茂子 (久世校区社協)	一瀬 裕子 (深谷校区社協)	紺谷 義明 (今池校区社協)
森塚 フサ子 (今池校区社協)	棕本 喜美子 (今池校区社協)	上塚 美江 (今池校区社協)
堀井 聖美 (今池校区社協)	大野 光恵 (青谷校区社協)	近藤 敏弘 (青谷校区社協)
堀井 彰 (青谷校区社協)	横田 美佐子 (青谷校区社協)	出島 永 (ボランティア連絡協議会)
今田 貞子 (ボランティア連絡協議会)	高橋 裕子 (ボランティア連絡協議会)	大野 美佐江 (ボランティア連絡協議会)
中塚 悦子 (ボランティア連絡協議会)		

●社会福祉事業奉仕者 団体(19団体)

平川南部自治会	平川北部自治会	大將軍中自治会	東広田自治会
平川東部第二自治会	正道自治会	上友ヶ丘自治会	城陽台自治会
宮の原自治会	市ノ久保第一自治会	北西自治会	中東自治会
芝自治会	乾城自治会	つくし自治会	敷島住宅自治会
高背自治会	西垣内自治会	十六自治会	

●社会福祉事業奉仕者 大口寄付(2名 6団体)

木田 慶子	原 圭伊子	京都城陽ロータリークラブ	城陽市牛乳販売店組合
全京都建築労働組合 洛南支部	近畿砂利協同組合	城陽薬剤師会	八久城地区自動車整備協議会



「将来、君は何になる？」

深谷小学校 6年 武田 小幸

私の夢は、介護士になることです。そのことを考えたきっかけは、一緒に暮らしているひいおじいちゃんとひいおばあちゃんの毎日の行動を見ていて、お手伝いしたことから始まりました。

ひいおじいちゃんは、もうすぐ88歳になります。ひいおばあちゃんは今年80歳になりました。2人は足やこし等、体中が痛いと言っています。私が小学校2年生の時から一緒に暮らしています。その時は何も気付かなかったけれど、だんだん体力はなくなってきて、足が上がりなくなってきた、段差も何もないところでこけることが増えました。つえや手すりがないと、体を支えられず歩けません。

危ないと思うことが多くなって、私は行動に移しました。例えば、持病が多い2人は朝と夜にたくさんの薬を飲んでいきます。

だから食事前に2人分

の薬と水を用意したり、他にはただただ洗たく物を部屋まで運んだり、こしや足など体全部のマッサージをしてあげたりします。今の私に出来ることはこんなことぐらいだけど、これから出来ることを増やしていきたいと思っています。

介護士と言っても、詳しいことは知りませんでした。ただ、ひいおじいちゃん・ひいおばあちゃんに、「いつもありがとう。」と言われるのがうれしいのです。それと、「お世話が上手やな。助かるわ。」とも言われました。それで、自信もついたり、やる気にもなりました。

少子高齢化社会と言われている現在、世の中にはたくさんの高齢者の人たちがいます。その中には一人ぼっちの人もしれば、夫婦2人で暮らしてはいるけれど助けて欲しいと思っている人も多いと思います。そんな人達のお手伝いをしたいと思うよ

うになりました。少しでも役に立ちたい、楽になってほしいと・・・そんなに簡単なことではないのは分かっています。今、私が経験しているのは家族のことです。しかも、私は1日中そばにいてお世話をしているわけでもありません。介護士になると、1日に何人もの人のお世話をしなければならぬのです。好きな時に好きなだけと言うわけにはいきません。

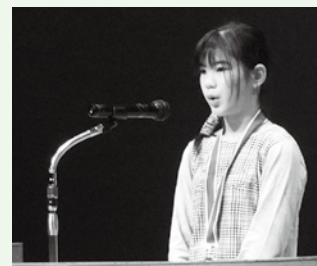
私のおじさんは、介護士をしていて、時々仕事の話を聞きます。自由に身体を動かせないけど、はっきりと話が出来る人の話や身体は動かせるけど、ちほうで話がかみ合わず、したことも忘れてしまう人の話などです。時には自分とは全く関係のない他人のお世話をするのだから、楽しいことばかりではなく、腹の立つこともあるそうです。また、ある時は「大人やけど、大きな赤ちゃんみたい。」とも言っていました。

赤ちゃんは文句を言わないけど、老人は言うことから大変だと言うこと

です。だけど、感謝されることも多いそうです。しかし、そう聞いても、はっきり言うとまだよく分かりません。

近所の人や私の近くにいる老人は、みんな元気です。外で会えばしゃべったりします。今は助けを必要としている人がいません。だから経験することはまだ出来ません。これから介護について勉強し、もっとたくさんの方のことを知りたいです。

私にこの夢を考えるきっかけをつくってくれた、ひいおじいちゃんとひいおばあちゃんに感謝です。ありがとう。がんばります。



武田 小幸さん

祝 車いす介助グループ「杉の子会」
平成30年秋の緑綬褒章 受章

平成30年11月3日に平成30年秋の褒章が発令され、車いす介助グループ「杉の子会」が緑綬褒章を受章されました。

杉の子会は昭和59年に設立され、重度心身障がい者の買い物や社会見学、レクリエーションなどの支援を中心に高齢者施設4か所で活動しており、感情の読み取りが困難とされている重度心身障がい者への積極的な理解と真摯な介助姿勢が称えられ、施設から感謝状を贈られたこともあります。

また、小中学生の福祉体験学習にて車いす指導を行っており、その内容は車いすの機能を学ぶとともに、乗る側・介助する側の違いを理解・考察できるものとなっています。

これらが評価され、今回緑綬褒章が贈られました。



「世界で羽ばたく兄」

南城陽中学校 2年 堀井 美邑

私には、6歳年の離れた兄がいます。兄は生まれつき耳が聞こえません。人とのコミュニケーションが難しく、悩んでいた日もありました。でも、夢を明確に持ち、日々夢を叶えようとしている兄は、小学校からサッカーを始め、今年、日本代表に選ばれました。

兄が小学生の頃、ずっと興味のあったサッカーを習い始めました。日々、上手くなっていき、友達同士で笑う姿も見られました。しかし、周りは兄とは違う健聴者。笑顔であっても、多少の不安はあったと思います。兄はそれを乗り越えました。

そして兄が中学生の頃、私は兄の本当の気持ちを知りました。兄が自分の耳について書いたレポートに「俺の耳はなぜ聞こえないんだろう。妹は聞こえるのに」と書いてありました。私はそれまで兄は、自分の耳のことは何も気にしていないと思っていました。でも、

やはり妹の私とは違うためすごく気にしていたと気付きました。

兄が言っていたのですが、補聴器というものがありますが、補聴器をかけたからと言って全部の音が聞こえるというわけではないらしいです。

私たちみたいに障がいがない人は、耳が聞こえて当たり前。目が見えて当たり前。歩けて当たり前。と思っているからこそ障がい者の人たちとの間に、壁を作ってしまうんだと思います。

私は、兄と兄妹で良かったなと思っています。私にとって、兄はあこがれの存在であり大切な存在でもあります。そして、何よりたくさんの勇気を与えてくれます。まずは、障がい者との間に線を引いたり、壁を作らずに障がい者ではない私たちが障がい者の人たちのことをもっと知らなくてはいけないのではないかと思います。

高校に入った兄は、小学生から続けていたサッカーを、高校でも続けていました。兄はサッカー部の仲間に、「お前、本当は聞こえてるんやろ。」と誤解されたりしていました。でも、どれだけひどいことを言われても、試合に出られなくても、3年間ちゃんとやり通しました。

そして、大学生になった兄は、大学のサッカー部以外に、デフサッカーという難聴の人が世界でもプレーをするチームに入りました。兄はそのデフサッカーの日本代表になりました。日本代表も簡単になれたわけではありません。いくつものオーディションに合格し、やっとなれた日本代表です。兄は、その後2018年4月韓国で開催されたアジア大会で2位になり、銀メダルを持って帰って来てくれました。

私は、兄が兄以外の人だったらと考えたこともあります。耳が聞こえなくても、何があっても、私の兄は兄です。サッカーが大好きな多くの人に勇気を届けてくれる兄

です。

最後に、障がいは難聴だけではありません。壁を作ってしまうのも分かります。でも、ゆっくりで良いから、どんどん壁をなくして行ってほしいです。障がいのある方も人間です。私は、兄のおかげで障がいについてのことや、手話など、知ることができました。今も、兄に感謝しかありません。私は、兄を通して、障がいのある方が、常に前向きに努力していることを知りました。みんなで、その手助けができれば良いなと思います。そして、最終的に、壁がなくなっていくように、私自身も努力したいと思います。



堀井 美邑さん

老人福祉センターのイベント



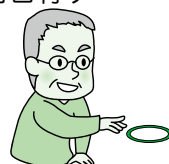
陽寿苑 ☎問合せ・申込み:55-1017

- **絵手紙教室** 無料・要申込
毎月第2木曜日 10:00~12:00(日程変更の場合有)
- **陶芸教室** 材料費有・要申込
3月、6月(日程未定) 材料費500円
- **リズム体操** 無料・申込不要
毎週水・金曜日 13:30~14:00
- **春のレクリエーション(お花見)** 無料・申込不要
4月上旬予定
- **健康教室(骨密度測定)** 無料・申込不要
5月中旬予定
- **介護予防教室(健康体操)** 無料・申込不要
6月より



陽和苑 ☎問合せ・申込み:52-9670

- **物忘れ予防教室** 無料・要申込
毎月1回金曜日
奇数月は10:30~12:00、偶数月は14:00~15:30
指・足運動や頭の体操など
- **ふれあい「子供の日」** 無料・要申込
4月下旬 10:00~11:00
久津川保育園園児さんと交流
- **「ホウ酸団子」作り** 参加費有・要申込
5月中旬 10:00~11:00
参加費150円、4月下旬事前予約受付日有り
- **「輪投げ大会」** 無料・要申込
6月中旬 予選1週間10:30~14:30
決勝1日 13:30~14:30



「恩返しのボランティア」

城陽中学校 3年 奥 奏海

私は中学1年生からボランティア活動をしています。これまで地域のスポーツ祭りや敬老会などのお手伝いや、学校内での活動にたくさん参加してきました。その中でも特に印象深かった活動は、今年の西日本豪雨で被災された方々の支援のために行った募金活動です。

約1週間、ボランティアの会のメンバーが朝、登校してくる生徒に募金箱を持ち募金を呼びかけました。最初は朝が早く、とても辛かったですが、被災地の被害の大きさをニュースで見ると、頑張ろうという思いが増し、最後まで呼びかけることができました。

集めた募金は市の社会福祉協議会に届けました。感謝されたことへの喜びと共に、このお金がどれほどの人の役に立つのだろうというワクワクした感じがありました。

この募金活動は、直接人に関わり、お手伝いす

る今までの活動とは違って、最後までやりきれず不安でしたが、やってみると、被災者の方の力になりたいと思うことが本当にできて、頑張れました。

私はボランティアにおいて、大切なものは相手を想う気持ちと、一緒に活動する仲間だと思います。

まず、相手を想わないとボランティア活動をする意味がなくなってしまうし、本当に相手の力になるような活動ができなくなってしまうと思います。私は、ボランティア活動の時にこの「相手を想う気持ち」は忘れずに活動することを常に心がけています。

2つ目の仲間についてですが、ボランティア活動をしていると、辛いことや心が折れそうになることがたくさんあります。そんなときに支えになるのが仲間の存在だと思います。お互いに支え合っ

て活動することで、より多くの人の力になることができると思います。

しかし、私はこの夏、もう1つ忘れてはならないことに気づきました。それは「恩返しをする」という気持ちです。

全国には助けを必要としている方がたくさんいて、ボランティアとして活動されている方もたくさんいます。災害が起こった場所でのボランティア活動は私たちが行っている活動の何十倍も大変な活動です。そんな中、ボランティアの方がテレビのインタビューで「私は今までたくさんの人に助けられて生きてきたので、恩返しとしてこの位のことしかできないから、精一杯やって当然のことです。」と話されていたのがとても印象的で、それまで私がボランティアに対して持っていた気持ちが一気に変わりました。

それまでは、誰かの力になりたいとだけ思って活動していましたが、「今の生活が平穏に送れているのは、会ったこと

もない人が遠くから何かしら支えてくれているからなのかも知れない。」と考えるようになり、それ以来ボランティア活動をするときに、力になりたいという気持ちと同時に、いつも支えてもらっていることへの恩返しという気持ちも忘れず持つようになっています。

私の目標は、日本だけでなく世界の人の力になり、恩返しすることです。世界にも困っている方がたくさんいるので、その方たちに少しでも笑顔で安心して生活できるようなお手伝いができればいいと思っています。そのために、ずっとボランティアを続け、様々な人とつながっていきたいと思っています。



奥 奏海さん

陽東苑 ☎問合せ・申込み:53-3700

- お花見 昼食代有・要申込
4月上旬、昼食代700円程度
- ビデオ健康講座・健康体操 無料・申込不要
毎週月・金曜日 10:00～
- カラオケ 無料・申込不要
毎週火曜日 午前中
- ラジオ体操 無料・申込不要
毎週土曜日 10:00～
- 保健師の健康相談 無料・申込不要
毎週火・木・金曜日 9:00～16:00
- フラワー教室 無料・申込不要
第2水曜日 午前中
- 認知症予防ゲーム 無料・申込不要
毎月第3木曜日 13:30～14:30



陽幸苑 ☎問合せ・申込み:53-9393

- お花見 昼食代有・要申込
4月3日(水)、昼食代1,000円程度
- 西城陽中学校との交流会 (2年生職場体験) 6月上旬
無料・申込不要
- 消費生活講座 無料・要申込
6月上旬



※日時決定次第、苑内掲示します。
詳しくは苑にお尋ねください。
※陽和苑・陽東苑・陽幸苑に駐車場はあり
ません。また、陽寿苑には駐車場がありますが、満車になりやすいため、老人福祉セ
ンター送迎バスのご利用をおすすめして
います。ぜひご活用ください。



ボランティア登録受付中

市社協では、ボランティア活動にご協力いただける方を、年度を単位として(当該年度の4月1日～翌年3月31日)登録を付けています。

▼災害ボランティア

城陽市内外で災害が発生し、がれきの撤去や泥かき、片付けなど、復旧活動支援の依頼があった際にご協力いただける方

▼ボランティア連絡協議会

登録団体・個人で城陽市の福祉ボランティア活動の推進を図る団体で、V連協が実施・参加する活動へご協力いただける方(講演会や研修会のご案内もあります)

▼小地域福祉活動

各校区社協(小学校単位で組織されている福祉活動団体)での高齢者料理教室や安否確認等の地域における福祉活動にご協力いただける方

12月末までに登録された方には、安心してボランティア活動をしていただくために、右記項目“ボランティア保険”の保険料を一部助成いたします。



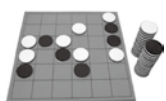
無料貸出備品のご紹介

本会では、レクリエーション物品やご寄付いただいた車いす等の貸し出しをしています。地域での季節のイベント、急に車いすが必要になったときなど、ぜひ、ご活用ください。貸し出ししている場合がありますので、事前にお問い合わせください。

物品貸出可能期間:必要と思われる期間

車いす貸出可能期間:最長2か月

申請時に必要なもの:印鑑



白黒ゲーム



公式輪投げセット



車いす

城陽市共同募金会の義援金情報

●平成28年熊本地震義援金

募集期間:平成28年4月15日～平成31年3月31日
平成30年2月28日現在 合計額 3,236,260円

●平成30年7月豪雨災害義援金

募集期間:平成30年7月11日～2019年6月28日
平成31年2月28日現在 合計額 872,681円

●平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

募集期間:平成30年9月12日～平成31年3月31日
平成30年2月28日現在 合計額 114,900円

城陽市共同募金会では、上記義援金を福祉センター1階の窓口で受付しており、老人福祉センターや市役所でも一部の募金箱を設置しています。ご寄付いただいた義援金はその全額を被災された方々の生活再建のためにお届けしています。ご協力をお願いいたします。

ボランティア保険・福祉行事保険

市社協では、安心してボランティア活動や福祉行事をしていただくために、保険の窓口業務も行っています。

ボランティア保険とは...?

ボランティア活動中

- ①事故により本人が死亡もしくはケガをした
- ②他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた場合を補償する保険です。



▼期 間 4月1日～翌年3月31日

(期間途中の加入は、保険料振込みの翌日から)

▼保険料 250円～/1人

補償内容により保険料は異なります



福祉行事保険とは...?

国内にて、福祉活動やボランティア活動、市民活動の一環として、非営利の団体が主催する行事参加中に、

- ①行事参加者が偶然な事故でケガをした場合の障害補償
- ②行事主催者が行事参加者など他人の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任補償

▼保険料 30円～/1人

行事内容等により保険料は異なります

全国社会福祉協議会会長表彰

平成30年度全国社会福祉大会が11月22日に開催され、城陽市内では民生委員・児童委員功労の部で**連日子氏**(城陽市民生児童委員協議会)に全国社会福祉協議会会長表彰が授与されました。

この表彰は、多年にわたり社会福祉及びボランティアの各分野の発展に功労された方々に対し贈られます。



(左)本会鈴鹿会長 (右)連氏

本会へのご寄付ありがとうございました

(平成30年12月1日～平成31年2月28日現在)【敬称略】

●海世 良一 10,000円

●八久城地区
自動車整備協議会 30,000円

●匿名 10,000円

●京都城陽ロータリークラブ
(福祉作文指定寄付)30,000円

指定された寄付金以外は本会の善意銀行基金に積み立て城陽市内で行う地域福祉やボランティア活動の推進に活用させていただきます。

11月25日に開催した「城陽福祉ふれあいまつり」では、9団体から135,000円相当の金品のご寄付をいただきました。このご寄付は城陽福祉ふれあいまつりの活動に活用させていただきます。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。